

<金標準、円安の恩恵のみであり買われ過ぎに注意・・・>



(出所：オアシス)

中国の春節明けと米国のプレジデントデー（ワシントン記念日）の休日が重なって始まった先週は、FOMC 議事録で「大部分の当局者が時期尚早な利下げに懸念を表明」したタカ派の内容となった事から金利高：ドル高の動きを見せている。また注目のエヌビディアの企業決算発表で市場予想を上回る結果となった事からエヌビディア株が 10%を超える上昇を見せ、リスク緩和の動きを強めている。また中東情勢ではイスラエルとヒズボラの対立が激化し原油価格が高止まりを見せるなど、地政学的なリスクの高まりを示している。

また週末にはバイデン政権は、500 余りの個人・組織を標的にした大規模な対ロシア制裁措置を発表するなど、世界的に不確実性が高まりを示す状況が拡大しており、リスク逃避から金へ流動性資金が流れている状況である。特に金標準先物は、金利の高止まりを受け 150 円台の円安を続けるなど、円建て価格は連日高値を更新し 9900 円に迫る動きを見せている。ただ買われ過ぎた反動で 9700 円へ向けた調整が起こる可能性は高いと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が上昇し、**シグナル**は横ばいするなど **MACD** が **シグナル**を上回っている。RCI でも **短期**が上昇し、**長期**は切り上げており、目先は **10 日移動平均線**が位置する 9738 円へ向けた動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 2 月 26 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 2 月 26 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>